# 第112期株主通信

2023年4月1日-2024年3月31日

# 小松マテーレ株式会社

証券コード 3580



komatsumateRe

## "驚き"と"感動"あふれる

## 魅力ある素材を創造しつづけます。

株主の皆様の日頃のご支援に心より感謝申し上げます。

この度、代表取締役社長に就任いたしました中山大輔と申します。経営陣と従業員が力を合わ

せ、小松マテーレの発展と飛躍のため に専心努力をいたす所存です。何卒、 前任者の佐々木久衛同様、ご支援と ご指導を賜りますようお願い申し上げ ます。

さて、2024年は年明け早々、 当社の本社がある石川県において能登半島地震が発災いたしました。この地震で犠牲になられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

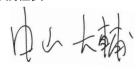
当社においても本社工場や 美川工場および一部の関連企業 で設備・建屋に被害がありまし た。その後、関係部署が連携し て設備の再点検と修繕を行い、 いち早く生産を再開し、お客様 への影響を最小限にとどめることができました。

僭越ながら申し上げますと、当社は独自に開発した炭素繊維複合材料「カボコーマ」を用いて既存の 建物を耐震補強した実績が石川県内にもいくつかあ

> り、能登半島地震においても大きな被害を免れることができました。今後、 能登の復興において公共施設などの耐 震補強で社会貢献ができればと決意を 新たにしているところです。

> > 当社を取り巻く事業環境はこの数年厳しい状況が続きました。佐々木前社長が進めてきた"守りと攻め"の諸施策を継承しつつ、皆様のご期待に添えるよう精一杯事業に邁進してまいります。引き続き、株主の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

2024年6月 代表取締役社長



## ↳ 厳しい経営環境が続いてい ます。難しい舵取りを迫ら れたのではありませんか。

中山:ウクライナ紛争の長期化によ り欧米でインフレが進み、市況の悪 化が見られました。当社においても 電力、梱包費、運送費を含む原燃料 価格の高騰によってコストが膨ら み、その影響を最小化するため販売 の強化に力を注ぐとともに、価格の 転嫁に取り組みました。

ただ、厳しい経営環境にあっても 環境対策の設備投資や従業員のベー スアップは後回しにできません。そ れもあって第112期は増収ながら減 益を覚悟しました。

その後、国内で消費・需要動向が

堅調に推移する中で、当社において は品種転換、売価アップ、付加価値 商品の積極提案などを確実に実行 し、ファッション分野と資材分野で 健闘しました。海外では地域別や用 途別でまだら模様は見られました が、中東向けやアジア向けが堅調 で、最終的に増収増益となりました。 "守り"をしっかり固め、"攻める" べきところは果敢に攻めようとする 佐々木前社長のリーダーシップの 賜物です。開発・製造・販売の各 部門が心を一つにして、共通の目 標に向かって前進できたと思って います。

## 🖳 衣料と資材、国内と海外の 売上げ比率は計画どおりだっ たでしょうか。

中山:主力の繊維事業は、主に「衣料 ファブリック | と 「 資材ファブリック | という2つにくくられています。ファブ リック事業全体の伸びは3.6%増で、 その内訳は、「衣料」は3.3%増、「資 材 は5.1%増でした。総じて国内が 堅調であったものの、海外は欧米で 伸びを欠きました。暖冬で冬物の衣 料が振るわなかったことも影響してい ます。

「資材」は、国内消費の拡大で売 上げを伸ばしました。自動車の生産 台数が戻った車輌分野と、湿布基布 の需要が堅調だった医療・福祉分野

## ◎ ハイライト

## 2024年 3 月期業績

売上高 36,670百万円 営業利益 1.856百万円 経営利益 2,643百万円 親会社株主に帰属する 1.843百万円 当期純利益

## 会社の対処すべき課題

- ①グローバルな事業拡大と開発体制の強化
- ②サステナブルな社会の実現に向けた取り組み
- ③中長期的な収益力強化のための施策

がけん引しました。

国内と海外の売上げ比率は、国内60.5%、海外39.4%となりました。国内が4.9%の伸びだったのに対し、海外ではスポーツ分野が減少し、1.3%の伸びにとどまりました。ただし、ファッション分野においては、特に欧米向けで数カ月待ちという人気商品もあります。中東の民族衣装は機能商品の継続投入により大幅増となっています。お客様が求める素材をタイムリーに提供できるかどうかが重要であり、まだまだやるべきことはあると認識をしています。

事業の伸びしろそのものは海外に あります。この度、営業本部内に「グローバルマーケティングチーム」を 立ち上げたのは、海外への積極的な 販路拡大という狙いによるものです。

Q3

「デジタル化が事業変革のカ 3 」 ギを握るとされています。 デジタルの活用をどのよう に構想していますか。

中山:業務の精度とスピードを高めるため、新基幹システムの構築に一 昨年から取り組んでいます。当社に とってはかなり大きな投資となりま すが、これによって営業による顧客 情報の把握と、生産における製造工 程の進捗管理が一元化できるように なります。

確度の高い経営情報が蓄積でき、いつでも取り出せるようになるため、あらゆる視点からの事業分析が可能となります。従来の社内業務の30%削減も不可能ではないと考えています。

デジタル化のもう1つの課題は、 生産現場における活用です。主力事業である染色加工は、お客様が求める色彩に生地を染め上げるだけでなく、ふくらみや表面感などお客様が求めるものを表現する作業が含まれます。加工条件を匠の技と呼ばれるレベルで制御しなければならないだけに、IoTやAIの活用は大変に効果的です。こうした試みを実現するためにも、意欲的に挑戦する人材が求められます。



「まてーれ 金沢ひがし茶屋 街」「青山ショールーム」な ど販売につながる新しい試 みもスタートしていますが。 中山:「まてーれ」はオープンから 1年が経過しました。人気の観光スポットで期待以上の賑わいを見せています。「天女の羽衣」と呼ばれる高価格帯のストール、スカーフやオリジナルブランド「mate-mono(マテモノ)」の"ひかるバッグ"などが売れ筋です。店頭から毎日レポートが上がってきますが、消費者の生の声がとても参考になります。

「青山ショールーム」では当社独自の生地を500点以上展示しています。地の利もあって国内外からファッション関係者が訪れてきます。また、スポーツやユニフォーム、資材関連のお客様も訪れ、効率的かつ効果的な商談が進んでいます。1階にオープンさせた「mate-monoショールーム」では、商品を手にした消費者からぜひ購入したいとの声が多く寄せられ、その場でお買い上げいただけるようにしました。

環境保全やCO<sub>2</sub>削減に社会の関心が集まるなか、当社は環境配慮型商品「mateReco(マテレコ)」への転換を進めています。2019年までは売上高の10%ほどでしたが、2023

年度は30%に達し、SDGs(持続可 能な開発目標)の到達年である2030 年には50%以上とする計画です。

人材の成長なくして企業の

<sup>て</sup>。未来はありません。従業員 のモチベーションの向上を うながす諸施策についても お聞かせください。

中山:デフレマインドからの脱却がわ が国では本格化しつつあります。一 民間企業である当社においても身の 丈にあった賃上げを行ってきました。

企業の継続的な発展には、人材 の成長が欠かせません。当社では、 斬新なアイデアを形にするため、 技術者および営業スタッフを対象 とした研修制度に力を入れており、 製造と営業の中堅、若手社員が連 携し、新たな商品開発を目指す 「RE-CREATION (リ・クリエー ション)」という発表の場を設けて います。同じく、中堅、若手社員 を対象とした技術力向上のための 勉強会も実施しています。

ただ、会社はこうした学びの場を 提供しますが、それがすべてではあ

りません。自分で関心のある分野を 見極め、これだけは誰にも負けない というものを磨いてほしいと思って います。当社としては従業員に学び をうながし、活躍と自己実現の場を 提供し、働きがいが実感できる職場 づくりを目指していきます。



↳ あらためて新社長の抱負と 株主様へのメッセージをお 願いします。

中山:コロナ禍による需要の減退、 市場の低迷、ウクライナ紛争によるコ スト増など、この数年は試練の連続 でした。当期はコロナ前の水準にどう にか同復することができ、一定の評 価はいただけるものと考えています。

今後については①グローバル事 業の強化②資材分野における車輌 など成長分野への展開③「まてー れ | や 「青山ショールーム | の活用 による製品事業の推進④バイオ製 剤事業の展開⑤環境配慮型商品 「マテレコ」の拡大の「カボコーマ」 による耐震補強の新工法認定取得 の推進⑦「グリーンビズ」の肥料用 途の認定取得など、取り組むべき



課題は目白押しとなっています。

また、将来への取り組みとしてス パイバー社への出資と共同開発があ げられます。スパイバー社は、環境 課題に対応する未来型の人工構造タ ンパク質素材「Brewed Protein™(ブ リュード・プロテイン™) | で注目 される企業ですが、当社が持つ高次 後加工技術と融合することで、確実 に石油資源に依存しない持続可能な 新しい素材の創出につながります。

当社としては環境対策や経営管理 の高度化への投資、人的資源経営の 実践に引き続き全力で取り組み、小 松マテーレを"驚き"と"感動"があ ふれる面白い会社に育てたいと考え ています。

## 東京・南青山にショールームをオープン

一 ファッションの先進の地でブランド力を発信 一



情報の発信地である東京・ 南青山の地に東京初の旗艦 ショールームとなる「青山シ ョールーム」を昨年11月に 開設しました。2階のショー ルーム機能に加え、1階で は当社オリジナル商品の販

売に特化し、当社ブランドの価値向上を目指します。

運営は、営業本部に新設された「グローバルマー ケティングチーム | が行い、国内外のファッション業 界関係者が数多く訪れる立地を活かし、そこに集まる 情報と当社各ブランドの橋渡し役を担います。また、 ショールームではスポーツやユニフォーム、資材関連 のお客様との商談も行います。



小松マテーレ 青山ショールーム 東京都港区南青山5丁目11番22号 テラス南青山1階・2階 営業時間:平日10:00~18:00

## 500点以上の生地サンプル数を誇る プレゼンテーションスペース

定番商品から開発したての最新素材に加え、当社を代 表するアーカイブ素材も石川本社から取り寄せ、常時 500点以上の生地サン

プルを展示しています。 国内外から訪れるバイ ヤーに、当社オリジナル 素材を手に取ってご覧い ただきながら、お客様 のニーズに沿ったご提案 を行います。



### 話題のオリジナルブランド 「mate-mono」ショップも

「青山ショールーム」の1階では、オリジナルブランド 「mate-mono (マテモノ)」の商品を展示・販売してい

ます。B to C のお客様 への発信により、当社 の認知度を高めていく とともに、消費者と直 接触れ合う場所として 活用しています。



## ▷○○○○ 小松マテーレグループ・サステナビリティへの取り組み

### 小松マテーレグループは独自の加工技術や先端素材で地球・社会の課題解決に貢献します

だれもが安心して暮らせる社会を目指し、小松マテーレグループは5つの行動目標からなる「小松マテーレ・サ ステナビリティ・ビジョン」を掲げ、様々な活動や製品開発に取り組んでいます。今回は、「IV 防災・減災への取 り組み | に貢献する新工法「カボコーマを用いた耐震補強工法」を紹介します。

### 小松マテーレ・サステナビリティ・ビジョン















「気候変動対策

Ⅱ 循環型社会づくりへの貢献

紹介動画

## 生産を止めずに耐震補強を実現

一 カボコーマを活用した新工法を開発 —

軽くて、強くて、腐食しない――炭素繊維複合材料「カボコーマ・ストラン ドロッド |を鉄骨造りの工場の耐震補強に用いる新工法を開発しました。

竣工から55年を経て、新耐震基準※を満たしていない当社第2製造部本棟(床 面積は約7.000㎡)の耐震補強工事に採用し、工場の稼働を止めずに約7カ月で 工事は完了しました。施工後の2024年元日に発生した能登半島地震でも耐震 補強前の工場建物と比べ被害は軽微であり、その効果が実証されました。

防災・減災が課題となっているわが国では、1981年に施行された新耐震基 準導入以前に建てられた古い工場建物が多く残っており、社会問題となってい ます。



当社工場に取り付けられた炭素繊維ブレース材 (クロスする白いワイヤー部分)

新工法の開発にあたっては、日本女子大学教授で構造家の江尻憲泰氏に指導いただき、現在、日本女子大学および 金沢工業大学との産学連携で[炭素繊維撚り線研究会]を立ち上げ、耐震工法として公的な認証取得を目指しています。 ※新耐震基準 1981年に改正された耐震性の指針(建築基準法)震度5程度を想定した旧耐震基準に比べ、震度6強~震度7でも倒壊・崩壊しない基準となっています

### □ 「カボコーマ・ストランドロッド」

日本の伝統産業である組紐の技術と、炭素繊維の技術を融合した 強さとしなやかさを有するワイヤー状の材料。ねじってワイヤー 状にしたこのストランドロッドは、外層を合成繊維や無機繊維で カバーリングし、熱可塑性樹脂を含浸させた炭素繊維複合材料で す。耐震補強用の引張材として2019年に制定されたJIS規格(JIS A5571)に適合しています。

### 〈主な特長〉

- ・軽量(比重は鉄の1/5)
- ・引張に強い
- 錆びない
- ・耐久性に優れる
- 結露しない
- ・作業現場への運搬が容易



カボコーマ・ストランドロッド

## 衣料ファブリック部門

売上高

26,479百万円 前年同期比 3.3%增

衣料ファブリック部門に関しては、市場の要求に応える高感性・高機能素 材や、環境配慮型商品を国内外の市場に積極的に訴求し、拡大を進めてまい りました。当連結会計年度では、北米カジュアルウェアや欧州でのスポーツ ウェアが伸び悩む一方で、中東民族衣装が海外向けの売上をけん引しました。 加えて、国内向けファッションが増加したことから、当部門全体としては堅 調に推移いたしました。

# 25,644 **26,479** 21,707 19.834

(単位:百万円)

### 第109期 第110期 第111期 第112期

### パリ、上海、ソウルで個展を開催

2023年から2024年にかけて、海外で複数の展示会を開催し、多くの方に来場いただきました。 2023年12月には、約9年ぶりとなるパリでの個展を開催しました。ラグジュアリーブラ ンドを中心に計31ブランドに来場いただき、出展内容について高い評価を得たほか、今後 の開発や納期・品質の改善につながる指摘や質問をいただくなど、ファッション大国らし いこだわりに触れる機会となりました。

また2024年3月には、上海とソウルでも個展を開催。高次加工素材ブランドごとに区別したり、カテゴリーを「FUNCTION(機能)」、 「FUSHION (感性)」に分けたり、細分化する要望に対応した提案をしたりするなど「KOMATSUブランド」の成長を実感できる展示会となりました。 今後も海外での展示会は継続開催し、世界のトレンドやニーズに応える製品の開発に努めていきます。













ソウル





# 資材ファブリック部門

売上高

8.290百万円

前年同期比 5.1%增

資材ファブリック部門については、販売価格の見直し等により改善が図ら れ、車輌分野や医療・福祉分野、建材が伸び、当部門全体として増収となり ました。

### バイオ製剤「ベリフォーマー」を開発

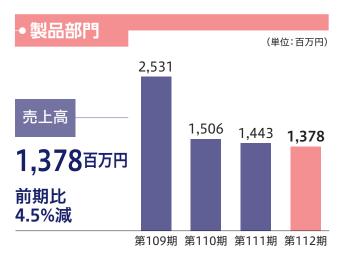
排水処理の際に生じる産業廃棄物の余剰汚泥を削減する汚泥減容化バイオ製剤「ベリフ オーマー」を開発しました。環境保護のために活用されている排水処理では、国内外問わ ず活性汚泥法が一般化しています。しかし、その過程で産業廃棄物となる余剰汚泥が発生 し、その量は全廃棄物の約40%を占めると言われています。当社はSDGs の観点から、余 剰汚泥の削減化に取り組んだ結果、本製剤を利用することにより、余剰汚泥を減容させる

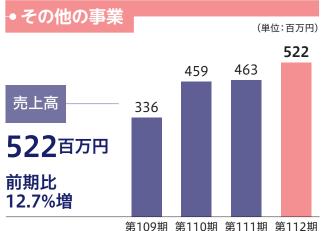
技術を確立いたしました。「ベリフォーマー」を排 水処理に使用すると、本来なら余剰汚泥となり得 る死滅した微生物をバイオ製剤が生み出す酵素に より分解することで、余剰汚泥を最大100%削減し

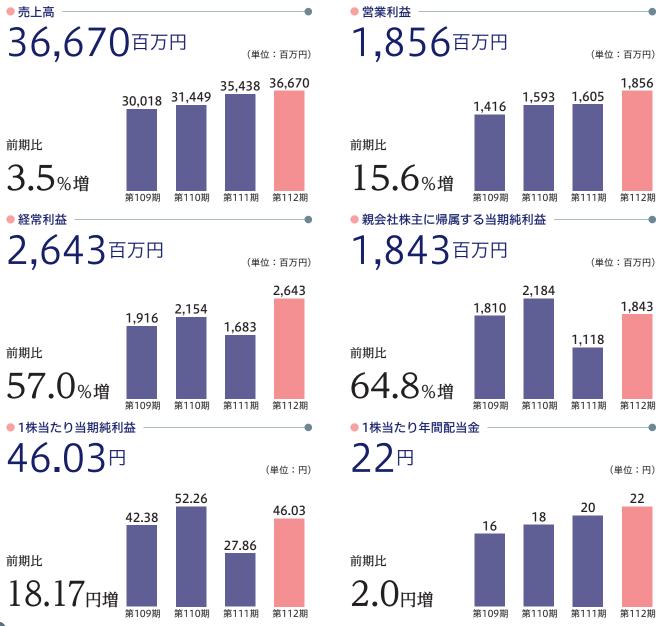
(単位:百万円) 8.290 7,777 7,887 7.317

第109期 第110期 第111期 第112期

ます。今後は、公共の排水処理施設や化学工業の工場など余剰汚泥の排出量の多い施設への展開を 本格化いたします。社会貢献を行うべく、新たなビジネスを展開していきたいと考えております。



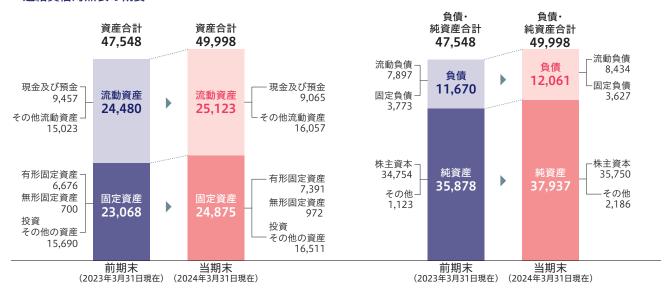




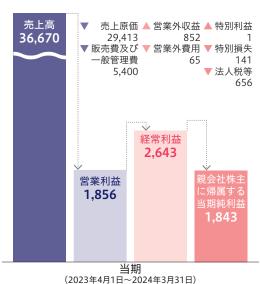
9 Business Report

## ○ 連結決算概要

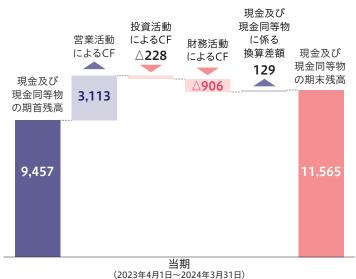
● 連結貸借対照表の概要(単位:百万円)



連結損益計算書の概要(単位:百万円) -



連結キャッシュ・フロー計算書の概要(単位:百万円) ─



### 発行済株式総数

43,140,999株

### 株主数

6,672名

### 所有者別分布状況

個人その他 7,984千株 (18.51%) 金融機関 12,844千株 (29.77%) その他の法人 11,532千株 (26.73%) 外国法人等 7,403千株 (17.16%)

証券会社 449千株(1.04%) 自己株式 2,928千株(6.79%)

### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東レ株式会社	3,749	9.32
THE SFP VALUE REALIZATION MASTER FUND LTD.	3,453	8.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,283	8.16
株式会社北國銀行	2,001	4.97
小松マテーレ松栄会	1,737	4.31
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SPECIAL OMNIBUS SECS LENDING ACCOUNT	1,357	3.37
日本生命保険相互会社	1,284	3.19
三井住友信託銀行株式会社	1,230	3.05
株式会社北陸銀行	1,063	2.64
三谷産業株式会社	892	2.21

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

 基準日
 定時株主総会・期末配当 3月31日

 中間配当
 9月30日

株主名簿管理人及び 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 0120-782-031

照会先URL https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

1単元の株式の数 100株

公告の方法 電子公告(当社ウェブサイトに掲載)

https://www.komatsumatere.co.jp/ir/investor/ ※事故やその他やむを得ない事由が生じた場合、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

住所変更、配当金受取方法の指定・変更、単元未満株式の買取・買増等について 株主様が口座を開設されている証券会社等にお申し出ください。また、証券会 社に口座を開設されていない株主様は、特別口座の口座管理機関の上記電話照 会先にお申し出ください。なお、単元未満株式の買取・買増の当社にかかる手 数料はいずれも無料となっております。

## 会社情報

### 役員 2024年6月21日現在

代表取締役会長 佐々木久衛 取 締 役 松尾 千洋 社外取締役 西村 友伸 代表取締役社長 中山 大輔 社外取締役 大西 洋 監 查 役 米澤 和洋 常務 取 締 役 米谷 俊泰 社外取締役 山下 修二 社外監査役 坂下 清司 常務 取 締 役 小川 直人 社外取締役 堀内 節郎 社外監査役 横越 亜紀

### グループ会社

小松美特料(蘇州)貿易有限公司 中国・江蘇省蘇州市 インターリンク金沢株式会社 石川県金沢市 株式会社コマクソン 石川県能美市 吉田産業株式会社福井県鯖江市 株式会社コマツインターリンク 石川県能美市

#### 【表紙の写真】

東京・南青山に構える当社の単独ショールーム。その2階にあるプレゼンテーションスペースには、当社の最新の生地サンプルのみならず、本社にあるアーカイブから持ち出した過去の貴重な財産も展示しており、当社の可能性と将来性を体感いただける空間となっています。併設されているテラスでは、都会の豊かな緑を感じられ、オフィスだけでなく、リラックススペースとしても活用されています。

### 会社の概況

商 号 小松マテーレ株式会社 設立年月日 1943年10月8日 2

資本金 46億8,042万円

本 社 〒929-0124 石川県能美市浜町ヌ167番地

### 拠点

本 社 製 造 部 石川県能美市浜町ヌ167番地

美 川 製 造 部 石川県白山市鹿島町1号7番地1

大阪営業所大阪府大阪市北区梅田2丁目2番22号 ハービスENTオフィスタワー8階

東 京 営 業 所 東京都中央区銀座3丁目10番6号 マルイト銀座第3ビル4階 北 陸 営 業 所 石川県能美市浜町ヌ167番地

北 隆 呂 来 州 石川県能天中県町メ107番地まてーれ 金沢ひがし茶屋街 石川県金沢市東山1丁目27-5

青山ショールーム 東京都港区南青山5丁目11番22号 テラス南青山1階-2階

## 小松マテーレ株式会社

https://www.komatsumatere.co.jp/

